

2月・3月イベント・日比谷カレッジ情報

日比谷図書文化館特別展「実録 桜田門外の変」

季節外れの雪降る安政7年3月3日。江戸幕府の老老井伊直弼が攘夷過激派の浪士に襲撃された「桜田門外の変」。事件は幕府を揺るがし、その7年後、江戸時代は幕を閉じることとなります。

幕府最高職の暗殺は、社会をも動揺させ、様々な人によって



月岡芳年画「安政五年三月三日水府／脱士等芝愛宕ノ山上へ集会ニ及ビ旧主ノ鬱憤ヲ散セン為大老彦根侯ヲ撃殺ト雪中ニ密計ヲ評定シ余波ノ憂ヲ催ス図」(区指定文化財「三谷家美術資料」、千代田区教育委員会寄託)

人々は事件をどう感じ、
どう伝えたのか

担当学芸員によるギャラリートーク

■開催日時

2月21日(金)・3月5日(水)・3月14日(金)
(各回18時から30分程度)

■会場

千代田区立日比谷図書文化館 1階 特別展示室

■参加費

無料・事前申込不要(別途観覧料は必要です。)

特別展関連講演会

彦根藩世田谷領の人々と桜田門外の変

講師：角和 裕子(世田谷区立郷土資料館学芸員)

■日 時：2月22日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■会 場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定 員：200名(先着順)
■参加費：1,000円

桜田門外の変の描かれ方

講師：大石 学(静岡市歴史博物館館長／東京学芸大学名誉教授)

■日 時：3月1日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■会 場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定 員：200名(先着順)
■参加費：1,000円

まち歩き「歩いて現場検証！桜田門外の変」

講師：日比谷図書文化館文化財事務室 担当学芸員

■日 時：3月22日(土)10:00～12:00
■会 場：千代田区内(三宅坂～外桜田門前～和田倉門前周辺)
■定 員：20名(先着順、2月25日(火)より申込開始)
■参加費：1,000円(資料代含む)

3/3 「桜田門外の変」前夜を描いた歌舞伎『大老』を読み解く



講師：織田 紘二
(元日本芸術文化振興会理事)

講師：織田 紘二(元日本芸術文化振興会理事)
劇作家・北條秀司が発表した2作品、歌舞伎作品『井伊大老』(1953年初演)と『大老』(1970年初演)について、1970年と2008年に国立劇場で上演した『大老』の演出に携わった講師が紹介・解説します。(協力：独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場))

■日 時：3月3日(月)19:00～20:30(18:30開場)
■会 場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定 員：200名(先着順)
■参加費：1,500円

！ 千代田区内ミュージアム連絡会

ディスカバリーミュージアム 仏像の「映え」写真を撮ってみよう！

半蔵門ミュージアムと日本カメラ博物館が連携し、仏像をテーマにイベントを実施します。仏像には様々な種類があり、覚えるのも大変ですが、ひとつひとつ個性的であり、たくさんの魅力をもっています。そこで本イベントでは、仏像の種類や見方について学びながら、素敵な仏像写真の撮影にもチャレンジします。

日時：3月11日(火)13:00～16:00(12:30開場)

場所：半蔵門ミュージアム(千代田区一番町25)

応募：2月28日(金)17:00まで受付

詳細・お申込
はこちら



大日如来坐像(半蔵門ミュージアム蔵)

2/1 フェイクニュースが拡散されるいま、 求められるリテラシーとは

フェイク動画や生成AIの偽画像に騙されないために、ネットに溢れる情報を見極めるリテラシーを学ぶ。

山口 真一

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授

場所・時間 **大 昼** 参加費 **有**

2/13 日比谷データベース講座vol26 日経テレコン 「日経テレコン活用講座」

新聞記事や企業情報、人事情報の調べ方や活用方法を学ぶ。
(2階 図書フロア カウンター前)

小佐野 萌子

日経メディアマーケティング株式会社 カスタマーサクセス部

場所・時間 **2階 昼** 参加費 **無**

2/20 日比谷オペラ塾「名作オペラの魅力、再発見」(全3回) 第2回 モーツァルト『フィガロの結婚』

名作オペラの魅力を再発見する講座。2月は、辻昌宏氏がモーツァルト『フィガロの結婚』の魅力を語る。

辻 昌宏

明治大学教授

場所・時間 **小 夜** 参加費 **有**

2/27 ジェンダーについて考えよう vol.2 実証経済学からみるジェンダー格差(全2回) 第2回「思い込みや社会規範のもたらす影響」

「男性は外、女性は家」といった思い込みや社会規範がもたらす影響をエビデンスとして明確に提示した研究を紹介する。

牧野 百恵

アジア経済研究所 主任研究員

場所・時間 **大 夜** 参加費 **有**

3/24 私のチャレンジ人生 第8回 自分の仕事にめぐり会うまで

講師が紆余曲折の中で得た教訓をもとに、「自分の仕事」にめぐり会うために必要なことは何かを考える。

川添 愛

作家、言語学者

場所・時間 **大 夜** 参加費 **有 区無**

3/28 江戸期に始まる物流事情 ～江戸は舟によって支えられていた～

江戸時代に発展した廻船航路や河川舟運に焦点をあてて、江戸を支え、経済発展に大きな影響を与えた水上輸送の発展と今後の歴史を学ぶ。

苦瀬 博仁

東京海洋大学 名誉教授

場所・時間 **大 夜** 参加費 **有**

参加費

場所・時間

凡例

申込方法

電話、HP、当館1階受付で承ります(申込先着順)。参加費は当日、現金でお支払い下さい。
区民料金の方は当日、図書貸出券や健康保険証などで住所を確認させていただきます。



2/7 千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座Vol.44 美術の視点で見直すアプリケ作家 宮脇綾子の造形

宮脇綾子を優れた造形作家として捉え、美術史のこぼれを使って分析することで、宮脇芸術の新たな魅力を発見する。

富田 章

東京ステーションギャラリー 館長

場所・時間 **大 昼** 参加費 **有 区**

2/13 ジェンダーについて考えよう vol.2 実証経済学からみるジェンダー格差(全2回) 第1回「因果推論の考え方」

因果推論の考え方を分かりやすく解説し、ジェンダー格差をどのように測るのか、いくつかの指標の中身まで見ることがいかに重要かを解説する。

牧野 百恵

アジア経済研究所 主任研究員

場所・時間 **大 夜** 参加費 **有**

2/21 アフリカを知るタベ：映画「地獄の黙示録」の原作 『闇の奥』とその舞台コンゴ 英文学の原田範行さん、WFPの津村康博さんが語る

巨匠コンラッドによる『闇の奥』は後世に何故あんなにも影響を与えるのか？名作を入口に多角的にアフリカに迫る。

原田 範行

慶応義塾大学文学部教授

津村 康博

国連世界食糧計画WFP日本事務所代表

場所・時間 **大 夜** 参加費 **有 学**

3/15 こども体験教室 「詩絵キーホルダーをつくろう」

日本の伝統芸能である詩絵について学び、親子で体験する教室。※申込方法・条件が他と異なります。詳細はHP参照

玉川 みほの

東京藝術大学大学院 文化財保存学専攻 保存修復工芸研究室 教育研究助手

場所・時間 **小 昼** 参加費 **有**

3/27 日比谷オペラ塾「名作オペラの魅力、再発見」(全3回) 第3回 ベッリーニ『ノルマ』

名作オペラの魅力を再発見する講座。3月は、井内美香氏がベッリーニの『ノルマ』の魅力を語る。

井内 美香

オペラ・キュレーター

場所・時間 **小 夜** 参加費 **有**

3/29 中高生向け講座 好きなことと生きていく～東京藝大アーティスト編

美術作家で藝大アートプラザキュレーターの伊藤氏が美大を目指したきっかけ、美術予備校や入試、大学の授業、アーティストになるまでの実際を語る。

伊藤 久美子

美術作家 キュレーター

場所・時間 **4階 A 昼** 参加費 **無**

Interview

歴史ってワクワクするということを伝えたい



©コソバト(左)「学習まんが 日本の歴史」12巻/集英社 (表紙イラスト/和月伸宏)

「学習」としての役割があるので、監修の先生と相談し、基本的に最新の教科書、学習指導要領に沿って編集しています。教科書は改訂時期により新説が採用されていない場合もあるため、最新の学説を取り入れるかどうかは監修の先生にご意見をいただきます。また、総合アドバイザーである受験界のカリスマ講師 野島博之先生にも大学受験の観点から全巻をチェックしていただきました。

史実を理解し暗記するだけでなく教科書のみでも十分ですが、「学習まんが 日本の歴史」では、歴史つてワクワクする、奥が深いものだと言者者に感じてもらいたい、学びの探求心を高める「入口」になりたいという想いで編集しています。たとえば5巻では、義経の八艘飛びのような「平家物語」の名場面も描く等、教科書に書かれた史実とその時代に活躍した人物のキヤクターとしての魅力やドラマをつなげる工夫をしています。

「歴史の研究は新説が次々出てきます。またSNSなど個人が意見を発信するツールが普及している現代でもあります。このような状況で「史実」にも多くの意見が出るようになりました。現代において歴史を語る上でどう学説を取捨選択しているのか伺いました。

——歴史の研究は新説が次々出てきます。またSNSなど個人が意見を発信するツールが普及している現代でもあります。このような状況で「史実」にも多くの意見が出るようになりました。現代において歴史を語る上でどう学説を取捨選択しているのか伺いました。

顔の墨の入れ方など様々な部分を細かく確認していただいています。

近隣情報

再会が待ち遠しい 出光美術館／帝国劇場

日比谷で歴史と文化の普及に大きな役割を果たしてきた国際ビルと帝劇ビルが新たな魅力の発信地となるための建替計画が2022年に発表され、今年、両ビルとも一旦幕を下ろすことになりました。国内屈指の私立美術館、出光美術館では昨年4～10月までは4回シリーズの企画展で58年にわたる軌跡を辿り、12月に「日本・トル

コ外交関係樹立100周年記念 トプカブ宮殿博物館・出光美術館所蔵 名宝の競演」の終了で休館。帝国劇場では現在、劇場を彩ってきた歴代の数々の演目をクロージングラインナップとして2月28日(金)まで上演。日比谷に位置する当館も数年後、出光美術館、帝国劇場が再び都会のオアシスとなって戻ってくる日が楽しみです。

出光美術館／帝国劇場 東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル

帝国劇場へのお問い合わせはHPをご確認ください。

千代田Web図書館

本のラインナップ、ご利用方法などはホームページからご確認ください。

